

図書館だより



若者の可能性

●健康生活学部長 景山 節

4月から新入生が入ってきて稲沢のキャンパスも新しい顔ぶれが増えてきた。ほとんどの学生諸君にとって大学は19歳から22歳迄の青春時代を過ごす場所である。大学で若い人に接していると、ずっと昔の自分の学生時代であった頃を思いだし、今と昔を重ねてどういう風に変わってきたのか比較したりする。本質的なところは変わっていないと思う。それは、4年間で若者の持っている能力が大きく開き、さらにそれぞれでいろんな方向に開いていくことである。

自分の体験を混じえてもう少し書いてみよう。18歳迄はほとんどの人は小学校、中学校、高校と進んでいくことになる。小学校の前に保育所とか幼稚園があるかも知れない。この学校が続く過程では勉強がだんだんと進んでいくこと以外に、他人との様々な交わりがおこる。これが、若いときは相当なカルチャーショックである。高校になると中学生で知っているのは、クラスに数人ということにもなる。私が大変だったのは中学生になったときだ。田舎のほうから町のほうに加わったかっこうになったので、洗練された秀才のような子ばかり（とそころは見えた）に取り囲まれることになった。その当時地元の家内にてきた塾にいて同じ小学校から進学した仲間と情報交換、といえは聞こえはよいが要はしゃべりあっていると落ち着いてきたものである。

大学になると少し事情は変わってくる。人の集りに対するカルチャーショックには19歳にもなると慣れや順応性ができてきている。さらに、大学はもともと全国から人の集るところなので、知っている者は少ないのが普通である。むしろ問題なのは学問というか、大学で学ぶ内容が、予想できなかった、難しい、自分の好みでなかったといったことが起きることであろう。もちろん逆もあって、これこそやりたかったということもある。中学迄はほぼ画一の内容で授業は進み、高校では理系と文系と分かれるがそうたいした違いではない。大学では自分の好みの学問というのがかなりはっきりと分かれてくる。

私の大学時代に、入学後の最初の数学の授業で教授が何も言わずに突然に黒板に数式を書き始めた。全面書き終わると消してまた書くと言っ

た具合である。大学の授業というものを初めて体験しあつげにとられた。もちろん自分には何のことやら全く分からなかった。しかし隣をみると黒板を見てうなずいている学生がいた。あとで聞いてみるとよく分かったというのである。この学生は数学の先生になった。すごい秀才のように見えるが、彼は物理実験とか化学実験などは全くできなかった。どうしたらレポートでいい点をとれるか聞かれたりしたが、書き方も分からなかったようだ。このような例は他にもいっぱいあった。顕微鏡をのぞいたら離れなくて生物実習は常に優、あるいは化学反応で中に何が入っているか一発で当て化学実習は得意中の得意といったたぐいである。人の得意なところはそれぞれ違う、あるいは能力は多様で個々に違うということを実感することが多かった。

大学に入る迄このような個々の持っている潜在的な能力あるいは可能性に大きな違いがあることは、さほど意識はしなかった。高校迄の画一的な授業では決まったことを学んでいて表面に出てこなかったせいだと思っている。大学ではカリキュラムが組まれているが、選択も多く自由度は高い。勉強も自主性が尊重される。クラブやサークルでも自分たちでいろいろ決めていく。学ぶ、あるいは学習することに画一あるいは強制というフタがとれた状態になると、色々な個性の違いが大きく開花するようだ。ちょうど春になって土から色々な草花が芽を出すのに似ている。文理大の学生諸君も自分の隠れた可能性が目覚めてくるのを感じるに違いないと思う。4年間でそういう可能性を見つけ伸ばして欲しい。大学の役割は若者の可能性を引き出し、伸ばすことにあると言っても過言ではない。

目次

【巻頭言】	若者の可能性	1
【本の紹介】	99のなみだ	2
	iPhone SDKの教科書	3
【卒業研究・ゼミ紹介】	健康栄養学科	4
	フードビジネス学科	5
	情報メディア学科	6
【お知らせ】	図書情報センターから	8

本の紹介

99 のなみだ

第1夜 一本当にあったところを癒す10の物語

リンダブックス編集部 泰文堂 (2010/04) ISBN-10:480300188X 定価 1260 円

子どものころから動物好きだった私は、図書館に行っては「シートン動物記」、「ファーブル昆虫記」、椋鳩十の本などを繰り返し読んでいました。今でも本好きなのは変わらず、買い物に行くと用もないのに本屋に寄り、子どもと仲良く本を物色しています(最近の息子のお気に入りには仮面ライダーオーズです。メダルやらカードやら集めております)。

最近子どもが小さいこともあり、絵本を読んであげることが多くなりました。絵のかわいさに思わず買ってしまった新美南吉の「手袋を買いに」や千葉幹夫の「母と子のおやすみまへのちいさなおはなし 365」などを子どもが寝る前に少しずつ読んでいます。普段仕事が忙しく保育園に預ければなしの私が唯一子どものためにできる親らしいことなのかもしれません。

さて、子どもが寝てしまうと私の時間です。といっても洗濯が終わるのを待ちながらテレビを見たり、次の日の保育園の準備をしたりしています。洗濯物を干し終わると寝室に行きます。だいたい21時には布団に入っていることが多いです。いくら朝が早いからといってもすぐには寝られないので、薄明かりの中、買ってきた本を読みます。漫画だとなかなか眠くならないので、できるだけ活字の多い本を読むことにしています。目が悪くなりそうですが、すでに視力表の0.1が見えないので気にしないことにしています。

お勧めする本はVillage Vanguardでオトナ買いをしてしまった「99のなみだ」(リンダブックス編集部)です。感動的な話が載っている短篇小説集です。全部で何冊出ているのかわかりませんが、6~7冊くらい出ていると思います。どれも心に響く感動的な話でした。親が子を想う気持ち、子が親

を想う気持ち、いまさらながら気づく人の温かさやみえない優しさなど、いろんな世代の人にきっと温かい涙を運んでくれると思います。私はいつも布団の中で涙をこらえながら読んでいます。でもあっという間に眠くなって1冊の半分も読まずに力尽きていますが……。次の日またどこまで読んだか探して、続きを読んでいます。

勉強やアルバイト、遊びなど日々の生活を楽しんでいる皆さんにも、これからいろんなことがあると思います。特に入学してきたばかりの1年生の皆さんには緊張と不安が募っていると思います。こんなつらいことが……。とかこんなイヤな思いをした……。と落ち込むときがあったら、ぜひこの本を読んでみてください。ずっと心に入り込むこの本の話がきっとそんな思いはどこかへ吹き飛ばしてくれることでしょう。ただ、涙もろい人は電車の中など公衆の面前で読むことはお勧めしません。家でこっそり読みましょう。



【本の紹介者】

北越 香織 : 健康生活学科 助教

2007 年、iPhone の登場によって、情報メディアの世界は大きく変わってしまった。パソコンからスマートフォンへ、世界中で起きているこの流れは止められそうにない。

そのスマートフォンの主役とも言えるのが、スマートフォンで動作する「アプリ」だ。

中でも iPhone で動作する iPhone アプリの種類は 350,000 を越え、現在も増え続けている。iPhone の爆発的ヒットを支える iPhone アプリは、なぜこれほど急成長したのだろうか。

それを支えているのが「個人開発者」の存在だ。これまで、携帯電話やゲーム機のアプリを個人で制作するのは、敷居が高く、そもそも、個人では開発ツールの入手すら出来ないことが多かった。

しかし、iPhone のアプリは、個人でも作成し、世界中のユーザに配信することが出来るのだ。開発ツール、制作環境、AppStore という全世界への配信ルートまで整っている。

もちろん、学生でも、世界中の開発者と対等に戦える。これほど魅力的なプラットフォームは他を探してもなかなか見つからない。

ところが、いざアプリ開発を始めようとすると、いろいろな壁に直面する。何を揃えたいのだろう。アプリはどうやって作るのだろう。どんなデザインをしたらいいのだろう。このエラーは何だろう。

現在では Web にも多くの情報が掲載されているが、やはり、アプリ開発をナビゲートしてくれる一冊があると安心だ。

そんな、はじめてアプリ開発をする人にお勧めするのが iPhone アプリ開発の第一人者、赤松正行氏の「iPhone SDK の教科書 Cocoa Touch プログラミング、最初の一步」だ。

本書は iPhone アプリにはじめて挑戦する個人を対象とし、iPhone アプリ開発の基本的知識から、オリジナルアプリ作成のための制作プロセス、アプリを設計する上でのポイントなどが紹介されている。

本書では、難解なプログラムはほとんど登場しない。それ以上に、どうやったら自分のアイデアをアプリにできるのか、どのようなアプローチをとればオリジナリティのあるアプリができるのか、といったことに力が入れている。

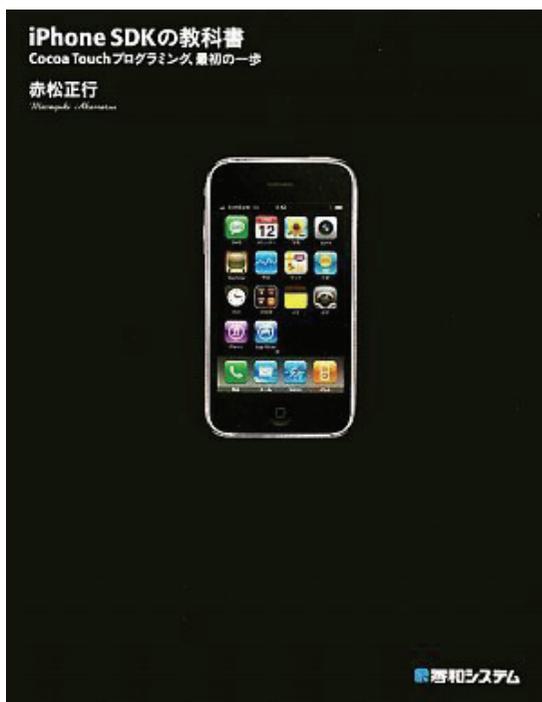
本書は第 1 部で iPhone アプリ開発の前提知識やツールの使い方が紹介され、第 2 部で iPhone アプリ開発に必要なプログラミングの知識や実践的なツールの使い方を「カウンター」アプリを実際に使いながら学び、第 3 部で魅力的な 5 つのサンプルアプリを作りながら、応用的なスキルを身につけていくという構成になっている。

まずは本書に記載されているサンプルアプリの完成を目指し、徐々にステップアップしていくことをおすすめする。このテキストのアプリをすべて完成させたら、オリジナルアプリ開発・配信まで後一步だ。

「プログラミング」と聞くと、「難しそう」というイメージが付きまとうが、プログラミングの基本的な部分からいねいに紹介されているので、プログラミングに初めて挑戦する人でも大丈夫だ。自分の作ったアプリが動いたときの喜びは、何物にも代え難いはずだ。アイデア次第では大ヒット作が誕生するかもしれない。

本学の有志による iPhone アプリ開発チーム「iPhone 道場」でもこのテキストを元に随時ワークショップを実施している。是非この機会に iPhone アプリ開発を始めてみよう。

(本書著者による紹介ページ : http://akamatsu.org/aka/?page_id=2260)



ゼミ紹介

健康生活学部・健康栄養学科

今年度の健康栄養学科では10のゼミが卒業演習、国家試験対策などに向けて活動を開始しています。今回はそのなかから2つのゼミをご紹介します。

●調理学研究室 **宮澤**ゼミ

宮澤ゼミでは、調理科学をもとに栄養管理したメニュープランニングを行い、管理栄養士の働く事業所、病院、小学校、福祉施設などですぐに使える実践レシピの立案、実習、レシピ集の作成を行っています。デパートの地下食品売り場での市場調査や様々な国の料理研究から食のトレンドを見つけ、喫食者の食に対する新しいニーズを反映させた内容をメニューに取り入れ、メニュープランニングをより充実させています。また食器の知識を深めるために陶磁器資料館の見学や作陶などの経験をすることで、盛り付けやテーブルでの食空間の演出を行って、従来の食事に付加価値をつけるといった内容にも取り組んで研究しています。



さらに愛知県下水道科学館（愛知水と緑の公社）との産学連携のコラボレーションによる下水道や水環境を考えたエコレシピを提案し、親子料理教室やエコレシピ試食会なども実施しています。興味のある方はぜひ研究室に遊びにきませんか。オリジナルレシピの提案から、栄養情報を発信し、地域貢献、産学連携を進めていきたいと考えています。

●食品衛生学研究室 **滝川**ゼミ

衛生学ゼミでは、管理栄養士の基礎として必要な食品衛生学および公衆衛生学を中心とした健康・病気の要因・病気について広く衛生学の観点から修めることを目的にしています。実際のところ、この衛生学の簡単な知識は健康栄養学科の学生のみならず他学科、はては一般社会の人たちにも知っておいて欲しいことです。

この図書館だよりを読まれた皆さんも、「鳥インフルエンザ」という言葉を聞いて、本当に怖いと感じている方は、そんなに多くはないのではないでしょうか。怖いところは全部なのでしょうか。どこが怖いのでしょうか。これらの話を、一つ一つ確認をしながら、話をして、理解を得るのをリスク・コミュニケーションと言います。

衛生学ゼミでは「水の安全性」「有害な（はい）菌と有益な（いい）菌」「感染症の流行」などを主軸としたテーマを研究し、リスク・コミュニケーションができるようになるため、そして興味をもてるようになるため、楽しんでいきます！お暇な時にも、他学科の皆さんも、ちょっと覗いて見てください（研究室に居ないことが多いですが…）。



卒業研究紹介 健康生活学部・フードビジネス学科

2月15日、平成22年度の卒業研究報告会が行われ、5名の学生がゼミにおける研究の成果を発表しました。指導教員の先生方による研究の紹介とコメントを掲載いたします。

機能性食品 ゼミ

食品の栄養・健康表示および広告は、消費者が商品を選択する上で、重要な情報となる。また、企業にとっても、製品の栄養健康の表示および広告は商品の内容を伝える手段として必要である。一方、行政は、消費者の知識、商品選択の行動を考慮して、制度を作る必要がある。

日本の栄養・健康表示には、個別評価型の特定保健用食品と規格基準型の栄養機能食品があり、健康増進法と食品衛生法で定められている。一方、それ以外の健康食品の機能表示は、前記の2つの法律に加えて、薬事法と景品表示法により規制されている。これらの観点から、本ゼミでは、下記の卒業研究を実施した（以下○は発表者）。

●研究テーマ：特定保健用食品に及ぼすエコナ販売中止と消費者庁への業務移管

古永淳一、○神谷美紀

特定保健用食品の許可が2009年度に減少傾向にあることを踏まえて、最近の許可件数の調査を行うとともに、エコナの発売中止、消費者庁への許可移管に関する消費者アンケートを実施した。その結果、エコナの発売中止に関する消費者認知の低さと、消費者庁移管により、半年の間、特定保健用食品の許可業務が中断されていたことが明らかになった。いずれも、2009年だけの現象であり、エコナに関する消費者の認知の低さからも、特定保健用食品の今後に大きな影響を及ぼさないと考えられる。

●研究テーマ：特定保健用食品の注意表示に関する消費者認知

○磯部綾子

特定保健用食品の注意喚起表示に関して、消費者委員会の特定保健用食品評価委員から、消費者が誤解する懸念が提起された。例えば、「過剰に摂取しても、病気が治癒したり、改善するものではありません」を「適切に摂取すれば、病気が治る」など。これらの懸念に対して、消費者アンケートを中心に調査解析した結果、90%以上の消費者は、特定保健用食品の注意表示を正しく理解していたことが明らかになった。

●研究テーマ：健康食品の新聞広告における消費者理解

○神谷美紀

法律に定義されない健康食品の新聞広告に関して、消費者が認知する効果についてアンケート調査を行った。その結果、広告に具体的な機能や疾病に関する表現がなくても、企業の意図する効果を多くの消費者は認知していた。健康食品は、効果を暗示することも法律で禁止されているが、暗示の定義があいまいであり、今後、消費者庁の指針により、暗示の定義、規制される表現の明確化が必要である。

なお、本研究内容は、前年度の卒論と合わせて、New Dietary Therapy(2011年3月出版)に原著論文として、掲載された。

●研究テーマ：健康食品のインターネット広告における違法性

○八野井久子

健康食品の①関節・骨、②ダイエット、③血糖値、④中性脂肪・体脂肪・コレステロール、⑤眼・視力、⑥疲労回復、⑦免疫などの効果に関するインターネット広告の違法性について調査した結果、広告の表現に前述の法律に違反性が高い広告が多く認められた。本研究と時を同じくして、消費者庁は、インターネットの健康食品の広告について、調査し、違法性のある広告に対して、指導を行っており、今後改善されると考えられる。

(清水俊雄教授)

須藤裕之 ゼミ

22年度は「フェアトレード」をテーマに勉強し、その成果として秋の学園祭では昨年引き続きゼミ展示「フェアトレードカフェ」をゼミ生全員で運営しました。こうした学修活動の成果の一環として、ゼミ生である内藤祈美子さんが「ヨーロッパの取り組みから考える日本のフェアトレードのこれから」というテーマで卒業研究を行ないました。内容としては、ヨーロッパの現状を参考に、コーヒーやチョコレートのようなフェアトレード市場を日本でもさらに拡大するためのビジネスモデルを考えるというのですが、結論として、日本の贈答文化を背景とする贈答用商品の開発と普及、そして一般原料との混成で原価を抑えた複合商品の開発という二つの具体的な方法を明らかにしています。

(須藤裕之教授)

卒業研究報告会にて



卒業研究紹介 情報文化学部・情報メディア学科

去る3月16日、平成22年度の卒業研究の中から優秀な研究として卒業研究奨励賞の推薦を受けた研究に対して、研究者の表彰と賞品の授与式が行われました。卒業研究奨励賞を授賞した10件・10名の研究について、指導教員等からのコメントを掲載いたします。

● iPhone/iPad アプリ開発～学校用 iPad 多言語連絡アプリ「TALK」

大橋平和 (指導教員: 長谷川聡教授)

「iPhone 道場」で様々な iPhone・iPad アプリを開発。自作のソフトを iPad でプレゼンする姿でフジテレビ「新報道 2001」に出演。第10回モバイル研究会(2010)にて「モバイル社会の Future Vision」として「箸で世界を救う」を発表。ベンチャー企業との産学連携も。卒業研究では、iPad を利用する学校向け多言語コミュニケーションシステム「TALK」を開発した。自らの努力で培った確かな技術力で実用性のあるアプリを実現した。このシステムについては3月に開かれるモバイル学会シンポジウム「モバイル'10」でも発表。2011年4月よりシステムエンジニアとして就職。(長谷川聡教授記)

● サッカーのユニフォームカラーは勝率に関係するのか 柴田真成 (指導教員: 松原友子准教授)

本研究は、英国の研究グループが発表した「赤いユニフォームのチームは勝率が高い」という結果が、日本のリーグにも当てはまるかを調査することを目的とした。具体的には、勝率と1) チームカラー、2) ユニフォームの赤色の割合、3) ユニフォームの重み付けされた赤色の割合、の3つの組み合わせを用いた。2) は、ユニフォーム全体と赤色の部分の画素数を用いて算出し、3) は、赤色と思われる部分の3原色(赤、青、緑)の成分を考慮した指標を独自で考案した。これらは、画像の2値化、カラー成分の分解といった画像処理の技術を用いて実現したものである。ユニフォームカラー以外の勝敗の要因を除くために、チームの総資産を考慮して、勝率とユニフォームカラーの関係と比較し、まとめあげた。(松原友子准教授記)

● 主旋律と和音の調和 曲名 「Last vision」

小川雄平 (指導教員: 吉田友敬准教授)

小川君は、地道に曲作りの技法を積み重ね、学年を重ねるごとにレベルの高い楽曲を制作するに至った。卒業制作の作品は、その結果を反映するもので、コード進行に合わせたリズムやベース、メロディの設計に優れた楽曲となっている。また、卒業研究発表会(ゼミコンサート)の実行委員長として、大いに貢献したことも推薦理由として加味できるものと思う。(吉田友敬准教授記)

● 契約による結合ルールを適用した安全なアスペクト織り込みの実装

石郷祐介 (指導教員: 小橋一秀准教授)

Windowsの自作 Game ADK や iOS のアプリ制作など、オブジェクト指向開発の経験を元に、アスペクト指向開発について調査研究し、MacOS の Cocoa 上で Objective-C の動的側面 (フォワーディングによるメソッド置換) を利用したアスペクト織り込み (依存性の注入) 手法を示した。また、織り込み時の多重継承的なアスペクトの衝突問題で、Eiffel の契約による設計など先行研究を元に安全な織り込みの条件を示した。開発現場が直面している言語・設計に関する高度な問題を OOP、AOP に関して多くの研究文献・書籍をあたり理論から実装まで手がけた本研究を奨励賞に推薦する。(小橋一秀准教授記)

● 生態系シミュレーション

小川溪 (指導教員: 田近一郎准教授)

本学生は、仮想環境上で捕食者、被食者とその餌の計 3 種のエージェントが生態系を持續するシミュレータを Java 言語で制作した。特に心臓部である捕食被食の関係を表すエージェント間の相互作用と個体数変動のアニメーションの実装では工夫を重ねた。単純化された生態系ではあるが、捕食者と被食者の増減関係をモデル化したロトカ・ヴォルテラ方程式の解に類似の個体数変動を再現できた。コメントの著者が担当する科目「モデル化技法」でも演習の例題として利用する予定で、卒業研究としての水準に達したと考え奨励賞に推薦する。

(田近一郎准教授記)

● 電子書籍の表示文字の視認性に関する評価

島袋慎子 (指導教員: 長谷川聡教授)

島袋さんの研究は、電子デバイスにおける視認性の問題を、ペーパーメディアと複数の電子デバイスを幅広い被験者を基に比較し、明確に客観性をもった結論を導き出している。特にキンドルや紙メディアと比較し iPad の視認性の高さが示された点や、表示文字の大きさが影響している点など、細かく分析・評価されている。こうした研究の成果は学生の卒業論文でありながらも、今後多くの研究者から引用される論文として出版できる。一般的な研究レベルとして十分に評価できる事から奨励賞に推薦する。

(佐原理助教記)

● 地域活性メディアとしての祭りとその役割 - 祭りの中でのジェンダー意識の変化・大神山八幡宮大祭と浜松まつりを例として -

木村仁美 (指導教員: 佐原理助教)

木村仁美さんの研究ならびに映像作品は多大な時間を費やし、彼女の地域で開催される祭りを取材し、その構造を明らかにした上で今後の展望を指し示している点で評価できる。本人は栄 MOVIE AWARD で堤幸彦監督より好評をいただくなど、映像作品を通じて自己表現をする事で、実績を残している。静岡県湖西市から 4 年間通い続けたのも、地元祭りの行事に参加したいという本人の強い希望があつての事であり、今回の研究も地元の祭りを女性の立場からどのように良くできるのか、という考察にたつて論述されている。本人の努力とフィールドワークによる質的な分析方法、そして映像によるパブリッシングまでを総合的に評価し、その結果客観的に優秀と認められるためここに推薦する。(佐原理助教記)

● 動的テキストの時間周波数が眼球運動に与える影響 藤島佳世 (指導教員: 横田正恵准教授)

ヒトがものを注視する際の眼球の固視微動を計測・解析する実験系を応用し、刺激動画像として、空間周波数を数段階に変えた映像を用意し、映像の変化速度 (時間周波数) も変化させて、固視微動に与える影響を解析した。確かな実験手法に則って解析し、的確な解釈を行い、不随意的固視微動が、刺激映像の時間周波数だけでなく空間周波数にも依存して、時間および空間周波数の上昇に伴って固視微動の高周波成分も増加する可能性を見出した。卒業研究発表会だけでなく、視覚学会の全国大会などでも成果を発表し、聴講者の興味を引いて有益な議論を行った。(長谷川聡教授記)

● 「CrazyTalk v6.2」 と 「VideoStudio 11」 を用いたプロモーションビデオの制作

竹内寛子 (指導教員: 森博教授)

画像編集や音楽編集に興味を持っていたが、外資生保の TVCM で、猫やあひるが歌を歌う映像を見て、卒業作品制作を思い立った。自宅の飼い猫を静止画や動画で撮影し、「CrazyTalk」というソフトで、「歌う」ように画像処理を行った。曲は綾香の「三日月」。三日月を煮干しにみたく、三日月に向かって思いを寄せながら歌う猫を描いた動画である。かなりの制作期間を要したが、完成度はまずまずで、おもしろく楽しい作品に仕上がっている。(森博教授記)

● 就職活動中の志向の、時期による変化について

古瀬真大 (指導教員: 井上治子准教授)

この卒業論文は、執筆者が自ら大学生活中で最も一生懸命取り組んだという「就職活動」をテーマとしている。就職活動をしているうちに企業選択において重要視する項目が変化する学生が多い、という現象に着目し、これが起こる理由について、1. 就活の長さ、2. 訪れた企業の数、3. 友人への相談、4. 相談する相手の人数、の 4 つの要因から説明できるとの仮説を立て、学内学生を対象とした聞き取り調査により検証した。テーマの着眼点が自らの経験をもとにしたユニークなものであり、注意深い検証の過程で予期せぬ発見もあり、また発表会においてパワーポイントを巧みに使ったわかりやすい表現に成功していた。以上の点から推薦する次第である。

(井上治子准教授記)

卒業研究奨励賞授賞式にて



図書情報センターから

OPAC システム

図書館には、OPAC という蔵書検索システムがあることをご存知ですか？図書館を利用しても、OPAC を利用している人は、まだまだ少ないのではないのでしょうか。本学では、図書館内の専用端末はもちろんのこと、学内のネットワークを利用できるどのパソコンからでも OPAC へ接続することができます。まずは、図書館ホームページを閲覧ください。OPAC の利用方法の詳細や開館日、その他いろいろな情報を知ることができます。

↓ 図書情報センターホームページ内「蔵書検索（学内専用）」より OPAC システム画面へ

The screenshot shows the OPAC system interface for Nagoya University Library. It features a navigation menu with three main options: 蔵書検索 (Book Search), 新着照会 (New Arrivals Inquiry), and 貸出予約照会 (Loan Reservation Inquiry). Blue arrows point from these menu items to callouts on the right side of the screen. The callouts are: 1. 'タイトル,著者,出版社等,キーワードから資料を検索' (Search for materials by title, author, publisher, etc., or keywords). 2. '新着資料の照会' (Inquiry for new arrivals). 3. '貸出中の資料の予約' (Reservation of materials on loan).

日経 BP 記事検索サービス（大学版）

トライアルを実施していました「日経 BP 記事検索サービス」の契約を、2010 年 4 月より結びことに決まりました。

日経 BP 記事検索サービスは、日経 BP 社が発行する雑誌の記事を検索できるサービスです。ビジネスやパソコン、医療などさまざまな分野の専門誌約 50 誌をそろえています。レポート作成の資料として、業界や企業の情報を集める道具として、パソコンのスキルを身に付ける教科書として、さまざまな用途に活用できます。（日経 BP 記事検索サービス、クイックガイドより抜粋）

↓ 日経 BP 記事検索サービストップページ

The screenshot shows the homepage of the Nihon Keizai BP Article Search Service. The page is titled '日経BP記事検索サービス' and features a search bar at the top. Below the search bar, there are several sections: '新着雑誌' (New Magazines) with a list of titles like '環境後進国ニッポン' and '日経ヘルス'; '注目記事' (Featured Articles) with a list of articles like '台語する米中企業 - 知恵と貪欲さで圧倒'; and '注目記事ランキング' (Featured Article Ranking) with a list of top articles. The page is designed with a clean, professional layout and includes various navigation links and search filters.

<利用方法>

図書館ホームページのメニューよりアクセスし、日経 BP 記事検索サービスのトップページ左フレームの一番下に、『「使い方」の説明ページへ』ボタンが並んでいますので、参照してください。

図書館 1 階カウンターに、記事検索サービスの紹介パンフレットやクイックガイドが置いてあります。

ぜひ、ご活用ください。



平成 23 年 4 月
編集：名古屋文理大学図書情報委員会
発行：名古屋文理大学図書情報センター

492-8520 稲沢市稲沢町前田 365
Tel: 0587(23)2400 Fax: 0587(21)2844
e-mail: toshokan@nagoya-bunri.ac.jp